

R. I. District 2610. ROTARY CLUB OF UOZU

魚津ロータリークラブ会報誌

2013-2014年度 RI会長 ロン D. パートン

2013-2014年度 魚津RC会長 若井 貞克



第2919回 例会報告

2014年5月23日

・点鐘 ・握手 ・ロータリーソング 「我等の生業」



開会挨拶 若井会長

皆様、こんにちは。今日は2919回例会です。

先週の旬の会、黒部中央メタリークラブ20周年記念大会に多数の出席ありがとうございました。来年の当クラブ記念大会も盛大に行いたいと思います。

さて、今日は入会1年の青山君に、内科医師の立場から我々の不摂生を改善すべき事をお願いしてありますので参考にして日々の私生活に活用していただきたいと思います。



ニコボックスの報告 寺田委員長

★若井会長・・・青山君。卓話、楽しみにしています。

★愛宕幹事・・・先日の旬の会、出席できず残念でした。会場の3階でPTAの懇親会にいました。

★辻浩君・・・長男、悟が私の好きなお酒器で北日本新聞朝刊の記事になりました。「ヨロシク」。

★清水君・・・先日の例会等、欠席いたしました。お陰様

で田植え終了させて頂きました。ありがとうございました。

★青山君・・・新入会員として諸先輩のお仕事や人柄を理解できる卓話を楽しみにしております。本日、宮本先生のピンチヒッターとして初めての卓話をさせて頂きます。よろしくお願い致します。

幹事報告 愛宕幹事

- ★黒部中央RC・・・創立20周年記念式典の御礼状
- ★魚津市暴力追放運動推進協議会、並行在来線等対策連絡協議会・・・総会資料
- ★「社会に学ぶ14歳の挑戦」事業推進委員会・・・趣意書
- ★富山県善意銀行・・・総会案内、会費納入のお願い
- ★4月例会案内・・・30日(金) 卓話 大村(サンルート)
- ★5月SAA補助 谷川、川岸、稲盛



出席報告 羽田副委員長

- ★本日の出席者 26名
- 欠席者 10名
- 出席率 72.22%
- メイクアップ済 池上、野澤
- ★第2913回メイクアップ 羽田、青山、稲盛、坪野
- ★第2913回修正出席率 60.11%⇒72.22%



委員会報告★ロータリー情報委員会・・・平崎副委員長

5月14日(水)、万両に於いて、谷川委員長より1時間の講義を受けた。参加者は11名。

★親睦委員会・・・中田副委員長

6月15日(日)、ゴルフコンペを企画しています。16名の枠に現在9名の申込みですので多数の参加をお願いしたい。

★広報委員会・・・川岸委員長 ロータリーの友の紹介



本日の卓話

青山圭一 さん

「ピロリ菌除菌について」

平成25年から「ピロリ菌による胃炎」に対する「ピロリ菌除菌」が保険適応となりました。それまでは胃潰瘍・十二指腸潰瘍・早期胃癌で内視鏡治療で切除した人などでピロリ菌陽性の場合に保険適応になっていたのですが、「ピロリ菌による胃炎」が胃癌のリスクであることが明らかになってきて「ピロリ菌除菌」が「ピロリ菌による胃炎」にまで拡大されたわけです。除菌すると胃癌の発生率





が3分の1になることが分かっています。

保険適応が拡大されたことを受けて、人間ドックや検診でもピロリ菌関連の検査が取り入れられ、当院にもドックなどで血液や尿の検査で「ピロリ菌抗体陽性」を指摘された人や内視鏡検査で「慢性胃炎+ピロリ菌陽性」と診断を確定されて受診される人が目立つようになってきました。そのため、これまでは年平均

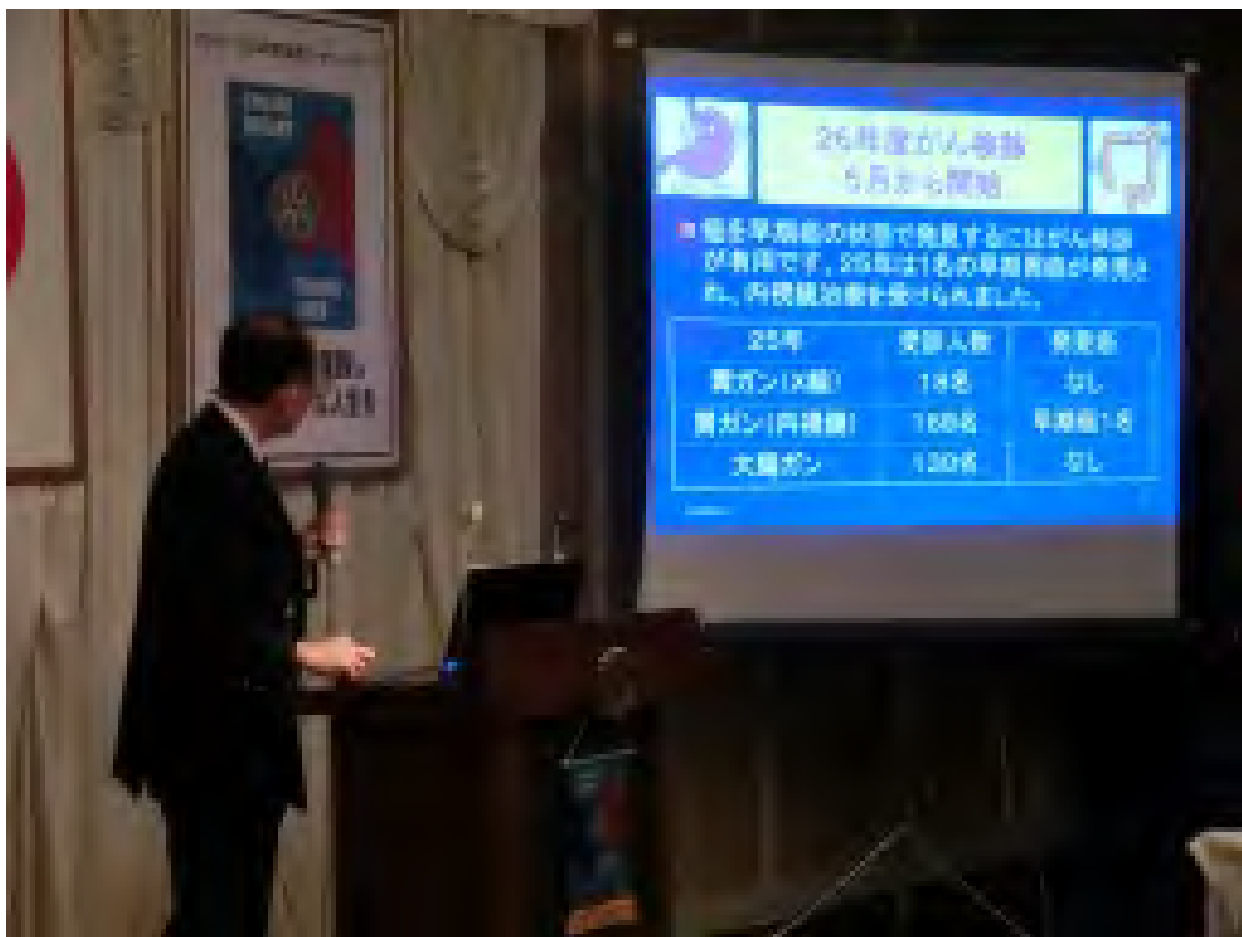
15人ほどだった当院の除菌治療例数が25年は40人と倍以上になりました。

保険治療では最初に行う「一次除菌」さらに「一次除菌」が不成功になった場合に行う「二次除菌」まで使う薬剤や投与期間が決められており、2種類の抗生物質と胃酸を抑えるプロトンポンプ阻害剤（PPI）を1日2回1週間服用します。

菌を退治するのは抗生物質なのですが、抗生物質の効果を大きく左右するのがpHで、胃内の酸度をより下げるためにPPIが併用されます。より効果の強いPPIを用いるのが良いようです。また、服薬する1週間はきちんと1日2回で飲み忘れなく飲むことが肝心で、間を抜いたりすると除菌されず、さらに、その後に正しく服用しても菌が耐性を持って薬が効かなくなることがあります。

費用に関連する保険適応の話をしてします。①ピロリ菌がいる ②内視鏡でピロリ菌胃炎の所見がある という二つの条件を満たした場合に保険で治療が可能です。ですから、「血液検査でピロリ菌がいると言われた」というだけの人には内視鏡検査で胃炎があることを確認しなければ保険で治療することができません。薬には頻度は多くないものの副作用がある





ことや漫然と除菌して胃がんなどを見逃すことがないように、あるいは胃内視鏡を行っている専門医の管理下で除菌した方がより確実に除菌が行える、などのことを考慮したルールだと思います。それでも、「除菌したいが胃カメラはしたくない」という人が当院にも受診されます。

そのような方には、デメリットを説明した上で保険外診療として全額自己負担で薬をお出しすることになります。

概ね、75歳以下の方でピロリ菌感染がある人全員に原則的には除菌をお勧めします。